

げんじゅうあん ぎ せん ほ ご づか
幻住庵祇川反古塚

◇ 指定日 昭和54年7月24日

◇ 所在地 長根

◇ 所有者 長根寺

松尾芭蕉の流れを受け継いだ俳人、青灯^{せいとう}
下祇川^{かぎせん}は、江戸時代の明和8年(1771年)
に宮古を訪れ、長根寺に2年ほど滞在しま
した。その間、当地方の俳諧人^{はいかいじん}と交友を深
め、俳諧の手ほどきもしたといわれています。

その時の教え子たちが、近江国に帰郷後
に亡くなった祇川を追悼するために建てた
とされています。

安永6年(1777年)に建立されたこの石
碑には、祇川を偲んで、「山ひとつ みな
名残りおし 花の時」と、彼が帰郷する際に詠んだ俳句が刻まれています。



高さ 125cm 幅 50cm 厚さ 20cm



石碑拓本